

令和6年度「にいがた庭園街道」登録計画事業実施報告書

にいがた庭園街道ネットワーク

1. 事業の実施状況

(1) 広報活動の一環の「視察」受入れ／対応

① (一社)国土計画協会・太田専務理事 (11/13~14)

- ・「にいがた庭園セミナー」(11/12、北方文化博物館)に出席後、にいがた庭園街道を視察・見学。
- ・11/13 : <宿> → 清水園 → 菊水庭園 → 290号経由で村上・昼食 → 長楽寺 → 渡邊邸 → 普済寺 → <宿>
- 11/14 : <宿> → 村上市で吉川代表が説明し市内を案内 → JRで帰路
- ・説明・案内は事務局長・各施設担当者と吉川代表。

菊水庭園での説明



(2) 「講演」等の依頼受け

① 開志専門職大学での「講演(特別授業)」の実施 (7/8)

- ・「新潟の地域資源と観光」のテーマで、大学生 2 クラス(20名×2回)
各 90 分の講演(特別授業)を実施・4回目。(事務局長)

講演(特別授業)



- ② 吉川代表が JR 新潟支社地域共創担当者他 3 名に対し、庭園街道の活動と町づくりの講演を実施。
(2025.3/25、村上市内で)

(3) マスコミ等からの「取材」受入れ等

① 新潟県の下越地域情報誌「街角こんぱす」(新発田市)の取材を受ける。

- ・「新潟県下越地域の魅力を発信」の企画コーナーで、にいがた庭園街道の活動の取材を受け、9月号の見開き4ページに掲載。
(取材対応 : 8月中～下旬)



情報誌「街角こんぱす」9月号

② 村上市観光協会のガイドブックに、「にいがた庭園街道」のコースと内容が掲載。(9月下旬)

- ・にいがた庭園街道のコースが村上観光のお薦めプランとして初めて掲載。(1ページ分)

村上市観光協会「観光ガイドブック」



2. 組織活動

(1) 総会(第6回)

- ・2024年6月24日：「書面決議」方式で実施。
- ・下記の議案が承認(5/29書面送付 ⇒ 6/24承認)。
「事業報告」、「収支決算報告」、「活動計画」、「収支予算」、「役員体制」の5議案。
- ・総会決議資料と共に、監査報告書、会員名簿を送付。

(2) 役員会等(一部は事務局役員会で、書面審議あり)

- ① 第1回：2024年4月9日(事務局役員会=書面)
 - ・2023年度 ガーデンツーリズム事業報告書(国交省へ提出)を承認。
- ② 第2回：2024年5月14日(事務局役員会=書面)
 - ・第6回総会(書面決議方式)の議題及び資料を検討。
- ③ 第3回：2024年5月22日(役員会=対面)
 - ・第6回総会(書面決議方式)の議題及び資料を了承。特に、国土計画協会の「更なる支援活動」への応募を決め、活動計画の内容修正(=「庭園セミナー」の開催)を決定。
- ④ 第4回：2024年5月28日(再度の役員会=書面)
 - ・第6回総会の議題(活動計画の修正を含む)及び資料を審議／承認。=5/22の「役員会」欠席者への対応。
- ⑤ 第5回：2024年6月24日(事務局役員会=書面)
 - ・「庭園セミナー」の開催日(11/12)及び計画概要の承認。
- ⑥ 第6回：2024年6月26日(役員会=書面)
 - ・第6回総会(書面決議方式)の議題の決議終了と結果を報告。
- ⑦ 第7回：2024年7月13日(役員会=書面)
 - ・新潟観光コンベンション協会(=観光部会長)の退会を承認。⇒ 次期総会まで「部会長空席」も了承。
- ⑧ 第8回：2024年8月24日(事務局役員会=書面)
 - ・庭園セミナーの具体的な計画(案)とチラシ(案)の承認。
- ⑨ 第9回：2024年10月7日(事務局役員会=書面)
 - ・会員配付の冊子「日本庭園と伝統建築の基本の『き』」の原稿の承認を得る。⇒ 冊子は庭園セミナー時に活用し、参加者にも配付。
- ⑩ 第10回：2025年1月16日(事務局役員会=対面:7名全員参加)
 - ・令和7年度の総会等(総会の形式、欠員の役員人選、活動の概要、等)と共に、今後の運営資金の捻出等について論議。

(3) その他機関との取組み

- ① 菊水酒造株(=菊水庭園)：菊水庭園の見学方法や活かし方の相談・意見交換。(事務局長)
 - ・ 2024年8月21日：庭園の見学方法が工場等のリニューアルにより一部変更。その対応について。
 - ・ 2024年12月26日：庭園講座(仮称)の開催の可否と協力の要請を受け相談。
- ② セミナー等の参加(事務局長)
 - ・ 2025年3月11日：「国土計画協会活動実績報告会」にオンラインで参加。

3. 特記すべき事項

(1) 設立5周年記念事業「にいがた庭園セミナー」の実施

① 実施概要

- ・ 月日：令和6(2024)年11月12日(火)13時30分～16時30分
- ・ 会場：北方文化博物館「みそ蔵・新館」(新潟市江南区)
- ・ 参加者：35名、他に来賓等3名＋スタッフ(事務局役員)7名
= 総勢45名
- ・ 役員7名で会場設営



・ 主な内容

代表あいさつ ⇒ 来賓あいさつ(北方文化博物館館長／国土計画協会専務理事) ⇒ 講演「庭園誕生の歴史的背景と庭園の基礎知識」(事務局長) ⇒ 対談「庭師・田中泰阿弥の想いと思い出」 ⇒ 現地「大庭」内での説明会



会場全景

② 実施の目的・ねらい

- ・ 今計画は、会場(北方文化博物館)の通常立入禁止の庭園内に入り案内・解説を行い、この庭を造った庭師「故・田中泰阿弥」の最後の弟子「小池勝榮氏」(前作事頭)から、作庭時の想いと思い出を聞いた。
- ・ 併せて、日本庭園等の基礎的知識を解説し、更に、この地に「なぜ、多くの日本庭園と伝統建築が残っているか?」のストリー(歴史的背景等)を紹介することで、庭園と地域を重層的に理解して頂き、今までとは異なる方々にも情報発信を行い、新規ファン層の掘起しと、「にいがた庭園街道」への来訪を促した。
- ・ これまでの反省等を踏まえて、従来から会員等の研修は実施してきたが、広く一般の方々に「にいがた庭園街道」の活動と、地域の「お宝(日本庭園・伝統建築等など)」を知って頂く機会として開催した。



代表挨拶



庭園内の案内・解説の様子



③ 実施の効果等(参加者アンケート結果より)

- ・ 参加者は、立入禁止の庭園内に入ることから「40名の定員」(事前申込み)と制限した結果、39名の応募があり、直前に4名のキャンセルがあり「35名」での開催。他に、スタッフ(準備役員)等を含め総勢45名と、ますますの人数となった。

- 参加 35 名の内訳は、「会員(施設と観光協会)」12 名(34%)、「一般」23 名(66%)。なお一般にはシティガイド(新潟市)5 名が含まれるなど、目的とした庭園等に関心を持っておられる「一般の方々」の参加が多かった。
- セミナーの実施内容が高く評価された。
「講演と対談」がともに 26%、「現地(庭園内)説明」が 24%、「挨拶の内容」が 22%と、まんべんなく高評価を得た。更に、席上配付の資料(冊子、レジメ)が分かり易く、今後の参考になると喜びの声を頂いた。また、セミナーの満足度合いも、「大変満足」が 59%、「満足」が 38%、「普通」が 3%と高い評価であった。更に、今後(同種のセミナー等)の参加に対しては、「また来たい」が 61%、「機会・内容が合えば来たい」が 39%と、高い関心を示した。

④ 今後の問題点等

- 実施目的の「一般の方々の参加」は、おおむね達成できたものの、今後継続してその関心を持ち続けて頂けるか、併せ、いかにすそ野を広げていけるかの情報発信と工夫が、今後に求められると痛感。
- 年配者を大切にしつつも、いかに若年層への関心度を高めていくかの工夫・企画等が課題である。

⑤ 庭園セミナー実施に伴う広報宣伝等

- フェイスブック(FB)に予告的広報をアップ。
- 地元新聞「新潟日報」(「る~と」=地域情報誌)で広報。
- 庭園セミナー参加の呼びかけ ⇒ チラシの配付／各市(新潟・村上・新発田・新津)のガイド協会に参加を呼びかけ。
- セミナー実施後の広報 ⇒ FB にアップ／国土計画協会の Web ページに投稿／ガーデンツーリズムの Web ページに投稿。
国土計画協会の雑誌「人と国土 21」に投稿。(6 月号で)
- セミナー「要約集(A4・19 頁)」を作成し、全会員・役員・アドバイザー等に配付。



庭園セミナー「要約集」

(2) 会員向け冊子を作成

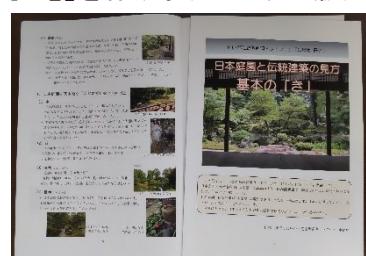
- 会員のレベルアップ等のため、冊子「日本庭園と伝統建築の見方 基本の『き』」を作成。(A4 カラー版)

【冊子の概要】

- 「日本庭園」と「伝統建築(日本家屋)」の2部制・64 ページの冊子。

- 日本庭園では、

日本庭園の概要、日本庭園の見方、日本庭園の推移(飛鳥時代～近代まで)、日本庭園の4要素、日本庭園の用語解説(73 項目)、日本庭園の発展に寄与した人々(18 名)、など。



小冊子「基本の『き』」

- 伝統建築(日本家屋)では、

日本家屋の概要：外観各部の名称、屋根の形状、など。

図解名称解説：日本住宅構造部の名称、部屋(書院造り)の名称、囲炉裏部屋の名称、など。

寺院：寺院の各施設、寺院の図解(建築名称、飾り金具、屋根部位の名称)、など。

神社：神社建築の6様式、神社の図解(建築名称、飾り金具)、など。

鳥居：鳥居の種類、鳥居の名称、など。

(3) 能登半島地震(2024.1/1)の被害後の状況

- ・ 地震以降、休館中の「旧笹川家住宅」が8/1より再公開を開始。
(地震時は、会員の施設=7カ所、旅館=3カ所に実害あり。)

4. 令和6(2024)年度のまとめ（活動の効果や成果）

- (1) 「にいがた庭園セミナー」(11/12)の開催実施で、改めて活動の重要さを再認識出来た想いである。
 - ・ イベント等の開催は、コロナ禍の蔓延や会の運営資金の激減などから見送ってきたが、国土計画協会からの支援(=更なる支援事業)で開催することができた。
- (2) 「会の足元を固め」つつ、「庭園ファン・新潟ファンを増やす」ための活動という観点からも、庭園セミナーの開催は意義深いものであった。
 - ・ 併せ、会員の知識の習得を図るため等の目的で作成した冊子「日本庭園と伝統建築の基本の『き』」は、セミナーでも高い評価を頂き、日本庭園ファンを増やす一助になれるとの想いである。
- (3) 「広報活動」を引き続き重要視し継続することの必要性を認識した。
 - ・ 「視察」の受入れ及び「講演会」の引き受けと共に、新たな広報媒体(SNSなど)の活用と効果を認識した。

5. 活動の課題（今後の取組み）

- (1) 現在の会費のみでの運営では限界がくるため、安定的な活動資金を確保する方法を検討する。
- (2) 会の継続的運営を最優先にしつつも、広く活動が認知され浸透が図れるように取り組む。

以上